

BMW i がロンドンでプレミア： 世界初の BMW i ストアのオープニングを飾る 新しいコンセプト



ロンドンのパーク・レーンで行われる世界初の BMW i ストアのオープニングに合わせ、BMW グループは新しいインテリア・カラーおよび素材コンセプトを採用した BMW i3 コンセプトを発表する予定です。昨年のフランクフルト・モーターショー(IAA)に登場した独創的なコンセプト・カーをベースにした BMW i3 コンセプトは、「ネクスト・プレミアム(next premium)」アプローチの影響をいっそう色濃く出しつつ、ステイナビリティの問題に正面からスポットライトを当てています。

BMW i3 コンセプトを補完する、カスタムメイドの新しい BMW i Pedelec(Pedal Electric Cycle)コンセプトも、BMW i ストアでプレミアを果たします。コンパクトな自転車の切り札とも言えるこの BMW i Pedelec コンセプトは、あっという間に折り畳み、BMW i3 コンセプトのトランク・ルームに容易に 2 台まで載せることができます。

BMW グループはロンドンで、包括的パッケージ「360° ELECTRIC」を初公開します。この広範囲にわたる製品とサービスは、エレクトロモビリティのメリットを日常的に体験するための、きわめて信頼性の高い、快適かつフレキシブルな方法です。

新しい BMW i の販売チャネルは、顧客に対し、一連の製品とサービスへのアクセス・ポイントをユーザーフレンドリーかつ顧客本位に提供できるよう工夫されています。これは、購入プロセスのフレキシビリティに関する、顧客からの期待の高まりを鋭く察知した結果です。

新しい BMW i3 コンセプト：広々とした空間感覚と、再生可能な原材料からなるユニークな素材コンセプトの融合。

レザー、ウッド、ウールその他の再生可能な原材料の組み合わせが BMW i3 コンセプトのインテリアの表情を形作り、車内で天然繊維を広範囲に使用することで BMW i のプレミアムな基本方針が強調されています。

06/2012
Page 2

計器類に用いられているユーカリ材は、持続可能な管理が行われているヨーロッパの森林で得られたものです。これにより配送距離が短くなり、生産の全段階を通じてサステイナビリティにスポットライトが当てられます。ウッドは天然素材を使って処理され、ハイクラスな仕上がりと際立った色合いに仕上がっていきます。

インテリアのレザーには、オリーブの葉から作られた天然のなめし剤が使われています。このオリーブの葉からの抽出物は、褪色や磨耗からレザーを守る天然の保護層としての役割を果たします。このように、天然素材でなめされたレザー（新しい色調「カッシア」）の生産は、耐久性を最大限に高めると同時に、環境への影響を最小限に抑えることに焦点を当てています。こうしたレザーに加え、ドア・トリムとダッシュボードの一部に高品質のウールを使用することで、車内には快適なラウンジのような雰囲気が生まれています。

パッセンジャー・セル「ライフ・モジュール」は、従来のどの量産車の範囲も超えた、広々とした空間感覚を生み出します。キャビンを分断するセンター・トンネルはもはや存在せず、インテリアは開放的で風通しのよい印象を生み出しています。フロントとリヤのワイド・ベンチ・シートにより、乗員は左右の座る場所を替えたり、快適に車から降りることができ、特に駐車スペースが狭い場合に役立ちます。乗員の座席はやや高いポジションになっているため、市街地の雑踏をよく見渡すことができ、同時にシートへの乗り降りも容易になっています。

コックピットに採用された最先端のインターフェース・デザイン。

コックピットの決定的な特徴のひとつに独立型のステアリング・コラムがあり、ここにはメーター・パネル、スタート／ストップ・ボタン、シフト・レバーなどの主要な操作部が集められています。他のユニット（オーディオやクライメート・コントロール機能のスイッチなど）はダッシュボードに組み込まれているため、センター・コンソールが不要となっています。BMW i3 コンセプトと乗員と外界とのインターフェースとなっているのは、3つの大型ディスプレイです。このうち、ステアリング・コラムの 6.5 インチ独立型メーター・パネルと、8.8 インチのセントラル・インフォメーション・ディスプレイ（CID）には、すべての関連情報が表示されます。CID は各種コネクティビティ・アプリケーションとドライバーをつなぐ役割も果たしています。CID の下にある 3 つ目のディスプレイは、オーディオ・システムとオートマチック・エア・コンディショナーの機能を表示します。これらのディスプレイはすべて、視覚的にも魅力的な最先端のグラフィックスによって表示を行っており、抜群の視認性を備えています。

BMW i のデザイン: 新しいカラー・スキームに包まれたダイナミックなプロポーション。

BMW i3 コンセプトの持つ品質の高さは、ボディのデザインをひと目見ただけで明らかです。ダイナミックでコンパクトなプロポーションは、このクルマの俊敏性と、電気駆動システムのスポーツ性能を物語っています。クルマの主要なカラーとなっているのは、新色のアンデサイト・シルバーと定番のハイグロス・ブラックです。それに加えて、ロゴ、キドニー・グリル、ドア・シル、およびリヤ・エプロンには BMW i ブルーが魅力的なタッチを添えています。ハイグロス仕上げの表面と、ブラック、シルバー、ブルーのコントラストが相まって、このクルマの印象的な特性が引き立っています。

シルエット: 軽やかで風通しのよい「スペース・シャトル」。

BMW i3 コンセプトのサイド・ビューでは、ダイナミックで流れるようなウェッジ・シェイプのシルエットとロング・ホイールベースが目を奪います。この角度から見ると、外からでも車内の広々としたスペースが明らかに感じ取れます。また、フロントとリヤのショート・オーバーハングは、BMW i3 コンセプトの優れた運動性能を物語っています。このクルマの機能的な長所は、観音開きの「コーチ・ドア」によっても強調されており、ここから軽やかで風通しのよい車内に快適にアクセスすることが可能です。ガラス表面が広めに確保されていることで軽やかな外観が作り出され、むきだしのカーボン構造と相まって、驚くべき車両重量の軽さが視覚的にも表現されています。

特徴的な BMW i のフロント・エンド。

BMW i3 コンセプトの明快なデザインのフロント・エンドで最も目立つのは、BMW i の特徴であるブルーのバックグラウンドを備えた、印象的なデザインのキドニー・グリルです。純然たる電気駆動システムが採用されたこのクルマでは、グリルは完全にふさがれています。キドニー・グリルの下では、シルバーカラーのレイヤーがフロント・エプロンを形作っています。ブラック塗装仕上げの表面は、フロント・エンドの機能的なエリア（エア・インレットやポンネットの下の収納コンパートメントなど）を強調しています。また、特徴のはっきりしたエア・カーテンは、先進的なエアロダイナミクスを実現するとともに、視覚的なアクセントを追加しています。BMW i の特徴である U 字型デザインを備えた LED ヘッドライトも、フロント・エンドの目立つエレメントとなっています。

機能性を強く感じさせるリヤでは、BMW i Pedelec コンセプトを収納するための十分なスペースを確保。

BMW i3 コンセプトの機能性は、特にクルマのリヤではっきりと強調されています。ワイドに開く大型のリヤ・ウインドウがリヤ・コンパートメントへの最適なアクセスを可能にしており、また直立したルーフ・ピラーによって積載容量はいっそう拡大しています。

多様な使い方が可能なトランク・ルームは、リヤ・シートを折り畳めばいっそう拡大し、2台の折り畳み式のBMW i Pedelecコンセプトの電動自転車が収納可能になります。これにより、都市部での移動が大幅に快適になるだけでなく、市街地を走る代わりに自然あふれる場所を移動する場合にも、モビリティの幅が広がります。リヤ・ウインドウに一体化されたU字型のテール・ライトと、ワイドなリヤ・ディフューザーは、このクルマのパワフルなスタンスを視覚的に強調しています。

LifeDrive アーキテクチャー：革新的なモジュール設計。

電気駆動の可能性をできるだけ効果的に開拓するため、BMW i3 コンセプトのアーキテクチャー、シャシーおよびボディは、モビリティが現在直面している特定の課題に対応できるように設計されています。BMW i LifeDrive コンセプトは、軽量設計、革新的な素材の使用、衝突安全性といった主要な特徴により、将来の電気駆動技術のための前提条件をすでに実現させています。ボディ・オン・フレーム構造と同様、LifeDrive アーキテクチャーは2つの独立したモジュールで構成される水平分割構造をとっています。ドライブ・モジュールは、構造機能および耐衝突機能に加え、駆動システム、バッテリーおよびシャシーが組み込まれ、多くのコンポーネントがアルミニウム製となっています。それに対して、ライフ・モジュールはカーボン・ファイバー強化樹脂(CFRP)製の軽量かつ高強度なパッセンジャー・セルとなっています。

このハイテク素材がこれほど広範囲にわたって使用されたのは、自動車の生産では初めてのことです。このコンセプト・モデルは、重量、構造強度、および衝突安全性についても新しい次元を切り拓きます。これらの長所は、パフォーマンスと俊敏性にとってプラスに働くだけでなく、BMW i3 コンセプトの航続距離も拡大します。LifeDrive アーキテクチャーは、電気自動車専用に設計されています。たとえば、大型バッテリー・パックを車両中央のアンダーフロア全体に組み込むことで、低重心と最適な重量バランスを確保しています。

eDrive：俊敏、パワフルな駆動システム、ローカル・エミッションはゼロ。

4つのシート、ワイドに開くドア、そして容量約200リッターのトランク・ルームを備えた電気駆動のBMW i3 コンセプトは、ローカル・エミッションがゼロの、実用的でインテリジェントなシティ・カーです。電気モーターの最高出力は125kW[170ps]で、静止時から250Nm[170lb-ft]の最大トルクを発生します。電気モーターは、軽量なBMW i3 コンセプトにダイナミックなパフォーマンスと鮮やかな俊敏性をもたらします。それは、信号が青に変わって発進するときだけではありません。この電気駆動のコンセプト・モデルの発進加速タイムは0-60km/h[37mph]で4秒以下、0-100km/h[62mph]加速は8秒以下です。幅広い回転域で大きなトルクが得られ、きわめてスムーズに駆動力を伝達し、トルクを途切れさせることなく、最高速度の150km/h[93mph]までBMW i3 コンセプトを加速させます。

パワー・エレクトロニクス：インテリジェントで効率的。

インテリジェントなパワー・エレクトロニクスにより、BMW i3 コンセプトの電力は経済的かつ効率的に使用されます。ドライバーがアクセル・ペダルから足を浮かせると、電気モーターが発電機として機能して運動エネルギーを電流に変換し、電流はバッテリーに送られます。こうして生まれるブレーキング効果を、ドライバーは必要に応じて利用することができます。あるいは、ドライバーは惰性走行モードを選択することもできます。この場合、ゼロ・トルク・コントロールによって電気モーターは駆動アクスルから切り離された状態に保たれます。このモードでは、BMW i3 コンセプトはほとんど動力を消費することなく、自分自身の運動エネルギーのみによって動き、惰性で走行します。

ドライバーがボタンを押すだけで、ECO PRO モードに切り替わり、出力の消費を抑えて航続距離を伸ばすことができます。ECO PRO+モードにすると、さらに一步進み、BMW i3 コンセプトは航続距離を最大限に伸ばすモードでのみ走るようになります。このモードでは、エア・コンディショナーやヒーター・システムなどの主要な電装品は最小限の出力レベルで作動し、シート・ヒーターやミラー・ヒーターなどの補助的な電装品は完全に停止します。

高電圧バッテリー：信頼性が高く、耐久性に優れ、パワフル。

この革新的な電気駆動システムのもうひとつの際立った特徴は、モーターの対サイズ出力比の高さです。このコンパクトな駆動ユニットは、パワー・エレクトロニクス、トランスミッション、ディファレンシャルとともにリヤ・アクスルに搭載されているため、車内のスペースを狭めることはありません。車両の駆動と、その他の全機能の作動に必要なパワーは、特別に開発されたリチウム・イオン・バッテリー・セルから供給されます。このバッテリー・セルも、理想的な場所であるアンダーフロアに配置されています。BMW i3 コンセプトの高電圧バッテリーは、変動的な外部要因がバッテリーの供給する出力量に与える影響を最小限に抑えられるよう、最適に設計されています。インテリジェントな加熱／冷却システムがつねにバッテリーを最適な作動温度に維持し、これがセルの平均寿命と性能の向上に役立っています。バッテリーは、標準装備される電源ソケットを使って 6 時間でフル充電可能です。BMW i Wallbox の高速チャージャーを使用すると、わずか 1 時間で 80% の充電が可能です。

BMW i コンセプト。

BMW i とは、時代を先取りする車両およびモビリティ・サービス、刺激的なデザイン、そしてサステイナビリティに強く焦点を当てたプレミアムなモビリティへの新しいアプローチを意味します。この新しいサブ・ブランドのもとで、BMW グループは電気モビリティ専用に設計された車両コンセプトを開発しています。このコンセプトは、パーソナル・モビリティという概念全体を一新することになるでしょう。土台となるのは、革新技術、インテリジェントな軽量設計、そして革新的な素材の駆使です。これにより、最小限の車両重量、最大限の航続距離、広々とした車内空間、卓越した動力性能、および最高の安全性を備えたクルマが生まれ出されます。

BMW i8 コンセプト クーペや BMW i8 コンセプト・スパイダーなどのハイブリッドモデルと同じファミリーに属する BMW i3 は、BMW i 初の完全な電気自動車です。生産開始は 2013 年の予定です。

BMW i を決定付ける特徴であるサステイナビリティは、購買、開発、生産から販売、マーケティングに至るまで、バリュー・チェーン全体にわたって適用されます。車両の生産において、BMW i は効率を新たなレベルまで高めます。例えばライツィヒ生産工場では、生産する車両 1 台あたりの水の消費量をさらに 70% 節減し、エネルギーの消費量も 50% 節減する予定です。それだけでなく、使用するエネルギーの 100% が再生可能エネルギーとなる予定です。

BMW i Pedelec コンセプト: アーバン・モビリティを完璧に補完。

BMW i が開発した革新的な二輪車は、BMW i3 コンセプトを完璧に補完し、特に都市部におけるパーソナル・モビリティに新しい便利な側面を追加します。新しい BMW i Pedelec (Pedal Electric Cycle) コンセプトは、こぐ人の筋肉の力にさらなるトルクを追加する電気モーターを装備した、コンパクトな自転車です。これを使えば、ライダーは街の他のエリアにいっそう素早く楽に行くことが可能になります。汗をかくこともありません。BMW i Pedelec コンセプトはあっという間に折り畳み、BMW i3 コンセプトのトランク・ルームに容易に 2 台まで載せることができます。しかも、クルマに載せている間にバッテリーを充電することが可能です。

BMW i3 と同様、BMW i Pedelec コンセプトも、個人の移動用の非常にハイテクな乗り物です。フロントとリヤのディスク・ブレーキ、モーターに組み込まれた 3 段ギヤのハブ、アルミニウムとカーボン・ファイバー製(BMW i3 コンセプトと同様)の軽量フレーム、電子制御システムを備えたトルクに優れた電気モーター、高性能バッテリー、そして工夫された折り畳み機構などの先進のコンポーネントによって、この電動アシスト自転車はきわめて実用的な移動ソリューションとなっています。圧倒的な走行性能と搬送性能に加え、BMW i Pedelec コンセプトはあっという間に便利なプッシュ・モードに切り替えることもできます。こうすると、転がして方向転換もできるようになるため、ライダーは苦労して持ち運ぶことなく、追加料金なしで公共交通機関に乗せることができます。

電気ハブ・モーターがドライバーのペダルをこぐ力を補助する際の最高速度は 25km/h (16mph) のため、BMW i Pedelec コンセプトは保険や登録の必要がなく、免許やヘルメットの着用も不要です。経路の状態、ライダーの体重、および使用するモーター・アシストの度合いによっても異なりますが、バッテリーをフル充電した場合の航続距離は 25~40km(16 ~25miles)に達します。ブレーキング中や下り坂の走行中は、ハブ・モーターは発電機の働きをし、バッテリーにエネルギーを供給します。空になったバッテリーをフル充電するには 4 時間(急速充電では 1.5 時間)しかかかりず、家庭用コンセントまたは BMW i3 コンセプトのトランク・ルーム内で充電可能です。

BMW i Pedelec コンセプト: 仕様

全長	1,480mm
ホイールベース	1,080mm
フレーム	アルミニウムおよびカーボン・ファイバー(50:50)
ホイール	16 インチ
ブレーキ	油圧式ディスク・ブレーキ(フロント／リヤ)
ギヤ	3 段ギヤのハブ
重量	20kg 以上
電気モーター	42V ハブ・モーター 250W/20Nm(15lb-ft)
モーター制御システム	電子制御、トルク経由 (ペダル・トルク ⇒ モーター・トルク)
バッテリー	42V リチウム・マンガン(LiMn)バッテリー 5.3～7.2Ah、300Wh 以上
充電時間	1.5/4.0 時間
航続距離	25～40km(16～25miles)

BMW i: パーソナル・モビリティのための新しい販売構造が、 顧客にまったく新しい購買体験を提供。

BMW iは、時代を先取りする車両の開発の代名詞であり、インスピレーションを与えるデザインとサステイナビリティに対する特に鋭い感覚を備えています。それと同時にBMW iは、プレミアムなモビリティについての斬新な理解や、将来的な需要と顧客のニーズに焦点を当てた、パーソナル・モビリティとフレキシビリティのひとつの形も表しています。新しいBMW iの販売チャネルは、このサブ・ブランドの顧客が一連の製品とサービスに接する際に、そのプレミアムでユーザーフレンドリーな性格を最大限に体験できるように工夫されています。これは、購入プロセスのフレキシビリティに関する、顧客からの期待の高まりを鋭く察知した結果です。このように、顧客が望むことに明確に焦点を当てることで、まったく新しい購買体験が開かれ、BMW iと競合車との差をはっきりと広げることにもなります。

BMW iの製品とサービスは、選ばれた市場において画期的なマルチチャネル・モデルを通じて販売されます。既成の「動かない」販売チャネル(すなわち正規ディーラー)に加え、BMW iはモバイル・セールス・チーム、カスタマー・インタラクション・センター(CIC)、およびインターネット販売システムを始動させる予定です。これらの新しいプラットフォームをすべて完全に相互リンクすることで、顧客は自分のニーズに合わせて窓口となるチャネルを選んだり、購入プロセス中でも希望すればいつでもチャネルを変えたりすることが可能になります。

インターネット・チャネルは、時間や場所の制約なしで情報を仕入れ、製品を購入したいという顧客のニーズにいつでも対応することができます。BMW グループでは、こうしたメリットがすべての製品とサービスについて得られるようにしたいと考えています。

これに対して、カスタマー・インタラクション・センター(CIC)は、必要に応じて、より個人的なサービスを提供することに特化されます。これには、モビリティ・サービスとサステイナビリティのあらゆる側面に関する網羅的な情報や、モバイル・セールス・アドバイザーのサービスも含まれます。

モバイル・セールス・アドバイザーは、BMW iの製品について、BMW のショールームから離れたところでフレキシブルに 1 対 1 で相談するという選択肢を見込み客に提供します。これにより、モデルの選択から、装備の指定、カラー、そしてファイナンシャル・オプションに至るまで、個別のニーズを早い段階で特定することが可能になります。モバイル・セールス・アドバイザーは、顧客にとって地理的に最も便利な場所にある BMW i のパートナー販売店で、最初の試乗の予約を手配します。そして顧客は、クルマについての最初の説明や試乗の間も、アドバイザーから個人的なサポートを受けることができます。

06/2012
Page 10

どの販売チャネルを選んでも、顧客は通常のようにディーラーと契約するのではなく、つねに BMW AG と契約することになります。顧客が BMW i を即金で購入する場合でも、幅広いリース契約のひとつを結ぶことを選択した場合でも、同様です。新しい販売チャネルでは、各種のあらゆる支払方法を取り扱うことが可能です。

独立した BMW 正規ディーラーによる伝統的な販売チャネルも、車両の販売において重要な役割を果たし続けます。マルチチャネル・モデルへのシステム拡張により、販売パートナーには顧客に費やす時間を優先するための補助的手段が提供されます。

ただし、BMW i のモデルは BMW のすべてのディーラーで販売されるわけではありません。BMW グループでは当面、顧客のターゲット・グループと車両の特徴を踏まえ、最も大きな需要を生み出す地域(すなわち人口密集地域)において、選ばれた BMW i パートナーを通じて販売したいと考えています。2013 年のこのサブ・ブランドの導入後、ヨーロッパの BMW のディーラーの 10% 以上で BMW i が取り扱われる予定で、主に車両の在庫と顧客に提供されるサービスの範囲に焦点が当てられることになります。そして期待通りに需要が伸びた際には、いつでも BMW i 販売パートナーを追加してネットワークを拡大することが可能です。

ただし、BMW グループの主要目標はサービス拠点の包括的なネットワークに焦点を当て続けることにより、それによって BMW i 車両の航続距離を考慮に入れながら顧客満足度を最大限に高めることを目指しています。標準的なサービスの大部分は、既存の BMW サービス・ネットワーク内で実施可能です。カーボン・ファイバー製ライフ・モジュールの特注部品と、保証期間内の高電圧バッテリーのサービスについては、選ばれた BMW i パートナーのエキスパートが対応します。

BMW i: 360° ELECTRIC - 電気モビリティのための 完全な製品 & サービス・パッケージ。

革新的な車両コンセプト、付随するモビリティ・サービス、そして全分野でのハイレベルなサステイナビリティを特徴とする BMW i は、顧客のニーズに応え、すべての個別の要求への完璧な対応を目指しながら、統合的なモビリティへのアプローチを追求しています。将来 BMW i 車を選ぶ顧客は、未来の BMW i のドライバーのニーズを完璧に満たすことを目指した、完全な製品 & サービス・パッケージの提供に期待を寄せることができます。特別に策定された包括的な 360° ELECTRIC パッケージは、電気モビリティの利点と、ハイレベルな日常的信頼性、利便性、およびフレキシビリティとを融合させています。

電気自動車に対する基本的な要件(信頼性、使いやすさ、日常的な動力性能の優秀さなど)を踏まえると同時に、電気自動車のドライバーが最も気にする側面(航続距離、バッテリーの寿命、メンテナンス、充電の選択肢、故障時の管理など)にも特別な注意が払われました。BMW i は、360° ELECTRIC によって、BMW i3 のドライバーがいつでもどこへ行こうとも信頼できる完全な製品 & サービス・パッケージを提供します。このパッケージは、革新的なコンセプトとソリューションを駆使することで、ユーザー特有の個人的なモビリティの好みに完全に対応します。

360° ELECTRIC 製品 & サービス・パッケージは、4 つの主要な柱に基づいています。すなわち、ホーム充電、パブリック充電、モビリティ保証、そして 4 つ目は、他の革新的なモビリティ・コンセプトへの統合による航続距離の制約の克服です。BMW i の顧客が利用できるサービスとしては、家庭用充電ボックスの提供と設置、グリーン電力の供給、公共充電ポイントへのアクセス、包括的なメンテナンス・サービスおよびモビリティ保証、フレキシブルなカー・シェアリング・ソリューション、そしてコンピュータとスマートフォン向けの有益な BMW Apps などが予定されています。

ホーム充電

充電の際に、ドライバーは電気自動車と従来の内燃エンジンを搭載した自動車との主な相違点のひとつに直面することになります。とはいえたドライバーは、日常生活の他の分野で、携帯電話などの電気機器を定期的または必要に応じて充電することに慣れています。それと同様に BMW i3 も、標準的な家庭用コンセントで充電することができます。さらに BMW i は、自家用ガレージや専用の駐車場を持っている顧客向けに、より安全で便利かつ高速な充電を可能にする BMW i Wallbox も提供します。顧客は、安全で便利に充電できるベーシック・バージョンと、さらに高速で「スマートな」充電が可能なプレミアム・バージョン(たとえば現在の送電網の負荷状況に応じた充電の管理が可能)を選択することができます。BMW i はオプションで、訓練を積んだスペシャリストが据え付けを行う BMW i Wallbox の設置サービスも提供します。

持続可能な電気モビリティは、持続可能な発電から始まります。そのため、BMW iは、再生可能な「グリーン電力」を使いたいと考えるドライバーのサポートも行います。家庭での充電に加えて、BMW iはエネルギー業界の提携企業との連携により、さまざまなグリーン電力商品もドライバーに提供します。

パブリック充電

これに加えてBMW iでは、自宅や勤務先でクルマを充電できない顧客のために、個別の事情に合ったソリューションも提供することが可能です。こうしたケースは、特に駐車スペースが非常に限られている都市部で想定されます。BMW iは駐車場管理業者や公共充電ポイントの管理業者と連携することで、こうした顧客が公共の充電ステーションの網羅的なネットワークに容易にアクセスできるようにします。ナビゲーション・システムを使うか、またはインターネットやスマートフォンのアプリ経由で、BMW i3 のドライバーは経路上に設置されている充電ステーションの場所を探すことができ、また該当するテクノロジーが利用可能な場合は、便利に予約してあらかじめ充電料金を支払うことができます。これによりドライバーは、必要なときにすぐに利用できるように充電場所を確保することができます。

アシスタンス・サービス

BMW i3 では、ドライバーは信頼性の高いクルマの運転を愉しみながら、さらに必要に応じて 24 時間いつでもサポートを依頼できるという安心感も持つことができます。包括的なメンテナンス・システムおよびモビリティ保証、そしてインテリジェントで快適・便利な機能により、顧客は不満やストレスを感じることなく、電気モビリティの利点を享受することができます。

なかでも顧客は、スマートフォンを使って、バッテリーの状態、充電レベル、残りの航続距離をチェック(またはプログラム)することができます。ヒーターおよびエア・コンディショナー・システムのチェックやプログラムも可能です。特別な追加オプションを備えたナビゲーション・システムは、ルートの計画について便利な支援を提供します。たとえば、最もエネルギー効率に優れたルートを選択するようにプログラムすることも可能です。またドライバーは、BMW i3 の航続距離を最大限に活用できるよう、経路上に位置する充電ステーションを確認することもできます。これに関連して、BMW iでは提携企業とともに、統合型の公共充電インフラの開発も積極的にサポートしており、さらに便利な機能(充電ステーションの事前予約や、簡単で透明性の高い支払い処理など)を電気自動車の顧客に提供できるように努めています。

必要となるすべてのサービスまたは修理作業は、包括的なサービス・パッケージによってカバーされています。作業は BMW i サービス・パートナーによって実施され、クルマが使用できない間は、広範囲にわたる代替モビリティ・オプションが BMW i の顧客に提供されます。また、きわめて可能性の低いことですが、故障が発生した場合や、バッテリーが切れた場合は、BMW が迅速なサービスを提供します。BMW モバイル・サービスの車両が現地で BMW i3 を充電するか、または顧客の意向によっては最寄りの充電ステーションまで運搬します。

フレキシブルなモビリティ

顧客によっては、航続距離の制約によって、電気自動車ではそのモビリティの要求を最適に満たせない場合もあります。こうした場合、より長距離を移動する必要があるドライバーが困難なく思い通りに行動できるよう、BMW i では補完的なモビリティ・パッケージを提供します。このパッケージでは、たとえば従来型の動力による BMW 車の一時的な貸与を行います。

フレキシビリティを最大限に高めるため、特に都市部で渋滞が激しい場合は、BMW コネクテッド・ドライブ機能によって電車や地下鉄などの代替移動手段を表示することができます。さらに BMW i の顧客は、DriveNow カー・シェアリング・サービスを利用することも可能です。これは、仕事で他の都市に出かけた場合に、きわめて有益な選択肢となります。

BMW i は 360° ELECTRIC パッケージによって、電気自動車における航続距離の制約が、インテリジェントでフレキシブルなソリューションによっていかに克服可能であるかを示しています。こうした完全な製品 & サービス・パッケージによって、BMW i は、電気自動車の顧客に便利な最先端のモビリティを提供します。このモビリティの持つフレキシビリティによって、あらゆるタイプの顧客に魅力的な選択肢を提供することが可能です。